

眉山のふもとで
毎日のくらしと
名もないドラマが
歴史を作る

私たちはこれからの未来に

どんなドラマを残すのだろうか

私たちは今、

歴史から続いた一筋の道の上

あしたという未来のふもと

ふもと研究会

Fumoken

『ふもと研究会』という集まりができました。

ふとしたきっかけではありましたが、「ふもと」という言葉を聞いた時、なにやらじんんと心の真に響くものがありました。

かつて徳島を愛し、徳島で没したポルトガル人モラエスが植えたと伝えられる『黄花亜麻』の花を初めて見た時、こんな想いが浮かんできました。「私たちは、過去、現在、そして未来に続く道筋の上に生きている。過去の出来事や人々の営みが今日の私たちを存在させ、今日の私たちの行いが未来をつくっていくんだ」と。「この眉山のふもとには、歴史も自然もある。人々の暮らしもある。きっとたくさんのドラマがあっただろう。

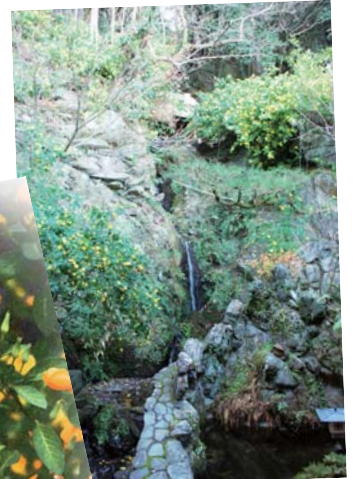
その名もないドラマをひとつでも知ってみたい」と。

こんなつぶやきのような想いを形にしたいと思い、歴史の、自然の、人間の・・・ふもとを探る研究会を開きました。

学びのコミュニティー内のこの研究会にはどなたでも自由に入ることができます。資格もいりません。年齢も、性別も国籍も問いません。ただひとつ。あなたも私も、今という同じ道のりをゆく同士だということ。そしてここでは、ひとつのシンボルとして眉山を取り上げていきたいと思っています。

学問のふもと、暮らしのふもと、創造のふもと。

ふもと研究会へいらっしやいませんか？



Photo

滝の焼き餅の茶屋（和田の屋さん）の庭です。毎年晩秋から初春までこのような黄色い美しい花を咲かせてくれます。とてもノスタルジックな空間。

記事・情報募集！

みなさんからの、眉山に関する記事や情報をお待ちしております！

眉山にまつわる昔話、お勧めの登山道、季節折々の自然など、みなさんが目ごろ感じていることなども添えてお寄せ下さい。

Webやふもと通信などでご紹介させていただきます。また、「ふもとなかま」も合わせて募集しています。情報収集や、イベントなどに一緒に参加して下さる方「ふもとなかま」に入りませんか？



わたしと麓^{ふもと}

vol. 01

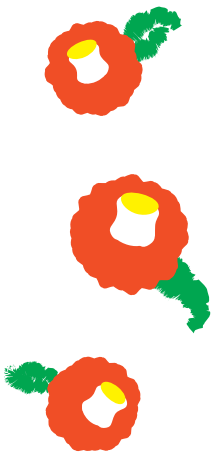
眉山

徳島では誰一人となく知らない人のない小さな山である。私にも小さな思い出がある。ある時期、小さい息子とほとんど毎日曜日に眉山に登ったことである。ロープウェイ乗り場近くの小さな店で買ったジュースとお菓子類をリュックに入れ、息子と二人で山頂までゆつくりと登った思い出が懐かしい。徳島の2月、3月は寒さも緩み、山道の木々の間から射し込む木漏れ陽が身体をぽかぽかと暖めてくれる季節である。そんな日に息子と山歩きしたことは忘れられない思い出であるが、もう一つ、自然の花木に出会うのも楽しみであった。

特に、この季節、真っ赤なツバキの花が記憶に残っている。山道にツバキが群生している訳でもないが、深い青葉の中に埋まった真っ赤な花は感動的であった。しかし、もつと鮮烈に記憶にあるのは、木漏れ陽に照らされた地面に散った真っ赤な花のことである。そして、森の奥から聞こえてくるメジロの可愛げな声は、今でも聞こえてくるような気がする。

昔の記憶を確かめるべく、先日眉山へ登った。随分時間はかかったが、頂上まで登ることができ、昔見た、あの場所で、やはりツバキの花に出会えたのがうれしかった。

平良全栄（たいら ぜんえい）



学生支援室だより

『ふもと研究会』は徳島大学・常三島キャンパス4号館1階の学生支援室内にあります。この部屋は、平成20年度から、文部科学省の質の高い大学推進プログラムにおいて採択された『地域社会人ボランティアを活用した教養教育～知の循環型社会の構築を目指して～』という取組にかかわる拠点です。いわゆる教養教育とよばれる過程における大学教育の質を向上させていくという試みで立ち上げられたもので、大学のイメージとはちょっと違う、非常に開かれた場所となっています。

…地域社会人ボランティアを…とありますように、大学教育に地域の社会人の方にボランティアとして参加していただき、学生と同じ立場で授業に参加し、時にアドバイスを、時にアイデアの提案をお願いしています。また授業を飛び出し、課外での学習会なども学生や教員と共にすすめていただいております。ここからいろいろな活動が生まれました。この『ふもと研究会』もそのひとつ。そしてより一層「地域と大学」とのつながりを大切にしたい活動として、広く地域のみならず共に展開していきたいと考えております。機会がございましたら、ぜひ学生支援室に遊びにお越しください。



学生支援室 Tel:088-656-7205

HP :<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp>